

村松ステーション

2009



一般公開

新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センターでは、8月9日（日）に、教育研究活動を地域に紹介し、併せて地域との連携を深めることを目的として、附属フィールド科学教育研究センター村松ステーションの一般公開を行いました。

今回で19回目の開催となった当日は、朝からあいにくの雨にもかかわらず、約500人の参加者がありました。

毎年人気のスイカ販売では、雨の中、約1時間30分前から整理券の順番待ちができたほか、天候不順で市場価格が高騰している玉ねぎ、ジャガイモ、トマトなどの農産物もまたたく間に完売しました。さらに、今年も地元の五泉市から農村女性グループが参加し、各種漬物、おこわなど、手作りの食材も併せて販売されました。

動物との触れ合いコーナーでは、初めて本物の牛を見る子供たちがほとんどで、おそろおそろ子牛の哺乳体験をしたり、村松ステーションで毛刈りをした羊毛を使っての工作や、毎年恒例のトラクターツアーでは、途中で農学部学生が牛や野菜についての手作りのクイズを出題するなど趣向を凝らした催しも行われました。

家族ぐるみで村松ステーションでの一日を楽しんで頂けた様です。



大盛況の農産物販売



楽しかったトラクターツアー